

## 第18回 特別講演会

# 知って得する恐竜の話

### 大橋智之先生（北九州市立自然史・歴史博物館）

恐竜と言えば何を思い浮かべられますか？とても人気の高いティラノサウルスやトリケラトプス、ここ20年くらいの恐竜研究の大きなトピックである羽毛恐竜たち、他にもたくさんの恐竜がいます。今から約2億2000万年前の中生代三畳紀後期にはこの地上に出現し、それから約1億6000万年近く繁栄し、現在も生きていると言える恐竜たち、彼らが当時どんな姿だったのか、どのように生きていたのか、どんな特徴があったのか、これらの疑問を解くために現在では様々な研究手法が用いられており、化石になってしまった恐竜たちの「生き様」を解明する試みが多く行われています。少ない証拠から理論的に科学的に恐竜を探っていくことは、難事件を解決しようとする名刑事や名探偵と似たプロセスです。

今回は、世界や日本各地の化石発掘の様子、博物館での研究、今生きている動物たちと比較することで明らかになりつつある恐竜の生態など恐竜研究の基本から応用的な研究まで、私の研究や最新研究を踏まえて紹介します。その中で恐竜など古生物学において言われる「現在は過去を解く鍵である」という考え方をお伝えしたいと思います。もちろん、研究の紹介やその醍醐味を伝えるだけではなく、恐竜研究の中で注目を浴びている恐竜たちとそのポイントについても触れて、講演会からの帰り道や今度博物館を訪れる機会があった時に、恐竜に対する見方や考え方がちょっと変わったと感じられるような恐竜の話をご紹介します。



▲羽毛恐竜のディロング  
(北九州市立自然史・歴史博物館)

- ・開催日時：平成26年3月8日（土）13：00～14：30
- ・場 所：豊田ホタルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。  
豊田ホタルの里ミュージアム  
電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355  
E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名